

木もれ陽

文責 平川 千秋

体育祭練習開始

9月4日に第36回体育祭が実施されます。今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から「無観客での午前中開催」となります。保護者の皆様におかれましては、楽しみにしていらした方が大勢いらっしゃったと思います。生徒も職員も本当に残念に思っています。でも、そのような状況下においても玉中の生徒は“熱い声援”を受けた昨年までと同様に、短距離走、学年種目、色別対抗リレー、応援合戦に全力で取り組んでくれると期待しています。



練習は今日から4日間の“短期決戦”で本番を迎えることとなります。8月24日の結団式では実行委員と各色応援団長・副団長の紹介がありました。団旗を手渡した際に各団長に「目標は？」と尋ねると、「3冠を取ることです」「楽しんでやることです」と答えてくれました。取り組んだ自分自身が満足できる、これまでにない形の玉造中学校体育祭を創造し、記憶に残る行事にしていけると嬉しいです。

なお、感染予防、熱中症予防に向けて細心の注意を払って練習を実施しますが、熱中症アラートが発令された場合は、計画を変更することもあり得ます。着替え、水筒、帽子等の準備を確実に行ってください。よろしくお願いいたします。

環境整備作業へのご協力 ありがとうございました。



8月22日、今年度1回目の環境整備作業に多くの保護者の皆様のご参加を頂きました。ご協力誠にありがとうございました。当日は玉造地区青少年健全育成協議会の皆様にもお手伝いいただき、冷たい飲み物の差し入れも頂戴し、瞬く間に校地内の雑草が刈り取られ、きれいになりました。生徒も一緒に活動できればよかったのですが、接触機会を減らすということで、今年度は保護者の皆様に作業をお願いする形となりました。それでも、陸上競技部が後始末のお手伝いをしたり、月曜日にはバスケットボール部が駐車場の落ち葉をまとめてくれたりして、すっきりした環境で2学期をスタートすることができました。

「環境は人を作る」というように、美しい環境の中で生活すれば心の美しい人が育つと言われます。玉造中の生徒はこれからも「無言清掃」に取り組み、美しい学び舎を後輩に引き継いでいきたいと思えます。

「挑戦する」……漢字検定



夏休みの一日、3年生の教室をのそくと今年度初の漢字検定が行われていました。自分の力を高めるために、各種検定に挑戦するのはとてもよい“挑戦”だと思います。目標を持って取り組み、その結果が直接自分自身に返ってくる、こうした経験の積み重ねは自己理解を深め、自己肯定感を高め、進路選択の幅を広げることにもつながります。皆さんの挑戦をこれからも応援していきます。